

あいちの教育に関する大綱（仮称） 骨子（案）

1 策定の趣旨

2 大綱の対象期間

平成28年度から平成32年度の5年間

3 基本理念

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現

4 めざす「あいちの人間像」

【共に生きる】

命を大切にし、多様な他者の存在を尊重して生きることのできる人間

【自分を生かす】

互いに切磋琢磨し、自らの力を生かして社会をつくっていくことのできる人間

【学び続ける】

生涯にわたって学び続けるとともに、健やかな体をつちかいていくことのできる人間

【あいちを創る】

あいちの伝統文化、「ものづくりの精神」を継承し、新たな価値を創造することのできる人間

【世界にはばたく】

次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

5 「あいちの人間像」を実現する5つの基本的な取組の方向

(1) 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

一人一人の能力・適性や生活環境の違いなどに応じたきめ細かな教育に努め、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるとともに、自己実現に向かって粘り強く努力しようとする思いを育みます。

(2) 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます

発達段階に応じて、命を大切にできる心や他人を思いやる心、人権を尊重する心などを育て、社会の一員として多様な人々と手を携えて生きていける、豊かな人間性を育みます。

(3) 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます

家庭教育・幼児教育・学校教育を通して健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって安全で健康な生活を営むための基礎をつちかいます。

(4) 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

キャリア教育をはじめ、子どもたちが将来生きていくうえでの羅針盤となる教育を充実させ、社会の激しい変化の中でも自分自身をしっかりとって未来のあいちを担っていく人材を育てます。

(5) 学びがいのある魅力的な学校づくりを進めます

子どもたちが、学ぶ喜びと学ぶ意味を感じられる学校であり続けられるよう、教職員の資質向上、教職員が子どもたちと向き合うための条件整備、学校施設・設備の整備等に努めます。